

社会貢献活動を通じた感動体験がより良い製品につながる

業界イメージの改革へ。社員自ら環境配慮に向け取り組む

1976年に設立されたカネパッケージ株式会社は、梱包材の設計開発から製造、販売までを手がける企業だ。埼玉県入間市を拠点に国内、フィリピン、ベトナム、中国、タイ、インドネシアの6カ国で事業を展開している。同社は、再生不可能な発泡スチロールを使用しない、天然素材である紙を使った環境に優しい梱包技術の分野で圧倒的な技術力を有しており、環境配慮に対する社会的ニーズが高まる中、多くのメーカーから支持を得ている。

その背景には「梱包は環境に悪影響を与えるというイメージを、クリーンなイメージへと変革していきたい」という全社員の思いがある。その思いが原点にあるため、事業として紙を使用した梱

包技術を提供するだけでなく、社内では環境を守るためのさまざまな工夫が行なわれている。例えば、社員の発案で「エコ検定」の資格取得を推進。社員は主体的に社内節電などを行っており、年間約30万円の経費削減に成功したという。この経費を社員同士の交流のために使い、社内ボーリング大会を開催。こうした取り組みを通して、社員の人間関係が良くなり、協力し合う風土の構築にも一役買っている。

社員の心が豊かになれば仕事が変わる

代表取締役の金坂良一氏は「社員の心が豊かになれば、仕事が変わる」と信じ、経営を行ってきた。そう考えたきっかけの一つがマングローブの植林活動である。「タイやフィリピンなど、

カネパッケージがお世話になっている国に恩返しをしたい」という金坂氏の思いから始まったこの活動。売り上げの一部をフィリピンのマングローブ植林活動への寄付に充て、年間100万本の植林を実施、二酸化炭素の削減に貢献している。こうした社会貢献活動は、同社の中核技術である環境に配慮した梱包技術がマーケティング戦略のためだけに生み出されたのではなく、理念に基づいて生み出されたものであることを象徴している。全社を挙げて環境保全活動に取り組む同社に対しては顧客からも大きな信頼が寄せられており、それが売上高の堅調な伸びにも表れている。

植林活動は、社員に感動体験を提供する場としても大きな価値を持つ。寄付で終わらせず、社員が現地に出向き植林を体験することが大事なのだ。



社会貢献活動の一環として、フィリピンでマングローブの植林を行なっている。寄付だけでなく、社員が実際に現地に行くことで感動体験の場が成立する。



「感動してもらいたい」と社員から発案されたハンドベル演奏。顧客や取引先の来社時などにサプライズで演奏する。



100の製品があれば100通りの梱包がある。同社への依頼のほとんどが、顧客の要望(仕様・梱包要領・出荷形態・荷姿・コスト・納期など)をじっくり確認することから始まるオーダーメイドだ。

「あんなに人に喜んでもらった経験は今までにない」と設計開発部係長の青木健二氏は話す。現地の子供と一緒にマングローブの植林を行なったところ、子供たちはとても喜び、帰り際には「また来てね」と、見えなくなるまで手を振り続けてくれたそうだ。人に感謝される経験は、心の豊かさを育み、顧客や業務に対する意識をも高めてくれる。

顧客の喜ぶ顔が見たい、共に働く社員の喜ぶ顔が見たい、その思いはよりよい製品という形になって現れる。「社員の心が豊かになれば、仕事が変わる」と金坂氏は話す。「顧客の要望にできないとは言いたくない。その思いが強くなった」と青木氏が言うように、高い品質を追求し、短納期を実現

するために自ら創意工夫しようとする姿勢の根源には、社員自身の感動体験がある。

経営理念「驚き」「感動」「安心」を体現する社員

経営理念「驚きと感動と安心の提供」を掲げる同社は、各業界で一流と呼ばれる著名人を半年に1度、「サプライズゲスト」として招き、講演・交流を行なっている。「本物」に触れることで、一流となっていく過程と心のあり方を共に学び、感動を共有するものだ。2013年には、80歳でエベレスト登頂に成功した三浦雄一郎氏を招いた。金坂氏が、社員を驚かせようと依頼したもので、誰にも事前に知らせなかった。



インターンシップに参加する留学生。同社では、留学生やインターン生の受け入れも積極的に行なっている。



「できないは言わない」をモットーに業務に取り組む社員。その根底にも、感動してもらいたいという思いがある。

「サプライズの喜びを社員に実感してほしい」と金坂氏は言う。講演の数日後、社員から「少し朝礼の時間を延長したい」と申し出があったので了承すると、突然、社員によるハンドベルの演奏が始まったのだ。聞けば、社員が初めて超の付く有名人に会って感動した気持ちを自分たちも提供したいと、金坂氏に内緒で練習したのだという。ハンドベルの演奏は現在では歓迎の定番になっていて、顧客が来社した折に自主的に行なわれている。まさに、「驚きと感動と安心の提供」という経営理念が体現されているのである。

会社概要

- ・法人名：カネパッケージ株式会社
- ・代表者：金坂 良一 代表取締役社長
- ・所在地：埼玉県入間市南峯1095-15
- ・設立年月：1976年9月

- ・資本金：50,000,000円
- ・ホームページ：http://www.kanepa.co.jp/
- ・社員数：正規35名、パート・アルバイトなど17名
- ・事業内容：各種梱包材設計製造販売